

JOCエリートアカデミーだより



【レスリング】 アジア選手権

2017年シニア アジアレスリン グ選手権大会が ニューデリー (インド)で5月11 日から13日まで 開催され、須﨑 さんと南條さん (ともに安部学院



【須﨑さん(左)】写真:国際レスリング連合HP

高)が日本代表として出場しました。また、修了生の古市さん (日本大)、向田さん(至学館大)の二人も出場しました。

48kg級の須崎さんは、1回戦47秒でテクニカルフォール勝ち。2回戦は昨年、登坂絵莉選手を破って優勝した中国の強豪選手と対戦し、勝利を収めました。準決勝では苦戦するも判定勝ち。決勝戦は2014年ユースオリンピック優勝の北朝鮮選手と対戦し、2Rに10-0のテクニカルフォール勝ちをし、最年少初出場初優勝を果たしました。

55kg級の南條さん

は、2回戦と準決勝ともにテクニカルフォール勝ち。決勝戦はベテラン強豪選手と対戦し、前半確実に得点を重ねたもの

の終盤タックルを



【南條さん(右)】写真:(公財)日本レスリング協会HP

返されて6-4まで追い上げられながらも、8-4の判定勝ちで、 優勝しました。

また、53kg級の向田さんも優勝を果たしました。75kg級の 古市さんは残念ながら優勝は逃したものの2位となり、在校生 修了生ともに大きな目標に向かって順調に成長していること を実感する大会となりました。

今大会でのアカデミー関係の選手の活躍が国際レスリング連合(UWW)ホームページで「The young wrestlers really did a great job," women's head coach Hideo SASAYAMA (JPN) said of the trio, who are all products of the Japan Olympic Committee's elite academy.」と紹介されました。

【 JOCエリートアカデミー】 10期生になって

10期生10名の入校後の競技や生活での感想、これからの目標などを発表してもらいました。

◆高橋 海大(レスリング:稲付中2年)

ばくは入って1ヶ月ほどたち、私生活にも少しなれてきました。 そして、レスリングでは入校前より技術の面などで成長できた 反面、自分の欠点が見つかりました。まだ、先輩方に練習で ついていけない所もありますが、オリンピックで優勝するという 夢に向かいこれからもがんばります。私生活ではなれてきた 分、気を引き締め、レスリングの向上と同時に人間力も向上 させていきたいと思います。

◆眞柄 美和(レスリング:稲付中1年)

私は入校して先ばいやコーチにたくさんの事を教えてもらいました。優翔さんには、あいさつや礼儀、行動の仕方を教えてもらいました。アカデミーは地元の時と環境もとらえられ方も全然違って、辛いことがたくさんあるけれどたくさんの先ばいが気付いてくれてはげましてくれて元気になれました。だからこれからも辛いことはたくさんあると思いますが頑張りたいと思います。

◆木原 美悠(卓 球:稲付中1年)

中学生になって今までお母さんや家族がしてくれていたことを全部自分ですることになって、お母さんたちがいろいろとしてくれていたことの大変さに気付いたし、お母さんへの感謝の気持ちがいっぱいです。でもこれからその大変なことをしてアカデミー生らしく周りの人から見てはずかしくないような行動をして、日の丸を背負って、世界で活躍できる選手になりたいです。

◆佐藤 琳(ライフル射撃:稲付中3年)

入校してから約2ヶ月が経ち、心も体も落ち着いてきたように感じます。そこで私は慣れと狎れの区別をしていかなくてはならないと思います。習熟することは、自分を高めることに繋がると考えます。しかし、守るべき礼儀を忘れることはあってはなりません。野外活動では料理など普段支えていただいていることを、自らすることで感謝することの意味を学びました。これからも初心を忘れずに成長していきたいです。

◆松田 京子(ボート:成立学園高1年)

入校して間もなく2ヶ月になり、ここでの生活にも、毎日ボートの練習場所まで自転車で30分の道のりにも慣れてきました。野外活動などをきっかけに、初めは少なかったアカデミー生との会話も増え、充実した日々を送っています。ここに入校して最初のレースでは予想よりも良い結果を出すことができ、自信に繋がりました。来月から始まる英会話なども有効に活用して海外のレースでどんどん使っていきたいです。

◆青木 洋樹(ボート:成立学園高1年)

入校してからもうすぐ2ヶ月が経ちます。入校前は寮での生活など 大きく変わる環境に慣れるか心配でしたが、同じ部屋の先輩や同 い年の選手に仲良くして頂き、分からないことなどを教えて貰えた お陰で少しずつ慣れていくことができました。競技面では毎日戸田 で練習できること、合宿に多く参加させて頂けていることでどんどん 上手くなっていると実感しています。これからも沢山練習して、良い 結果を残せるように頑張ります。

◆渡邉 麻央(アーチェリー:稲付中3年)

入校して約2ヶ月が経ち生活にも慣れてきたと思います。入校して知ったことや教えてもらったりして新しい発見がたくさんあった2ヶ月間だったと思います。例えば、ただ挨拶するだけではなく時と場所を考えて挨拶することが、以前の自分にはできていませんでした。今は状況に応じた挨拶が出来るようになり、人として成長できたと思います。これから色々知ってもっと成長していきたいです。

◆髙見 愛佳(アーチェリー:足立新田高1年)

入校して2ヶ月ですが、まだまだ自分は未熟だなと感じました。まずは、日頃の挨拶をしっかり大きな声で、笑顔でしていきたいと思っています。競技面はこの2ヶ月間すごく楽しく実のある練習ができています。自分自身考えすぎてしまったり力不足なところもあるので改善していきたいです。アーチェリーのキャプテンとしてアカデミー生としての自覚を持ち生活することを忘れないようにしたいです。

◆髙見 朋夏(アーチェリー:足立新田高1年)

入校して2ヶ月がたち、成長と課題が見えてきました。成長は競技面です。射型改善途中で悔しい結果ばかりですが、いままでよりも自分の納得できる射型でうつことができる回数が増えました。課題は時間にルーズなことです。2ヶ月で慣れが出てきて、時間に余裕を持った行動ができていないことが多々あります。だから課題は意識的に改善し、これから人間的にも競技でももっと成長できるように頑張ります。

◆園田 稚(アーチェリー:稲付中3年)

私が入校して約2ヶ月がたちました。4月当初の私は人前に立つ ことが苦手で、あまり自分に自信がありませんでした。しかし、今の 私は人とすれ違うとき、大きな声であいさつや笑顔でいることを意 識してすごすことができるようになりました。そしてこれから競技に人 一倍力を入れてがんばっていきたいと思っています。これからもよろ しくお願いします。

【 JOCエリートアカデミー】 野外活動

5月13日(土)、14日(日)の2日間、「おにし野外活動センター」(群 馬県藤岡市)で野外活動を実施しました。これまでは赤城山麓で実 施していましたが、今年度から2競技が新たに加わったことなどを考慮 し、場所やプログラムの内容を変更して行いました。

【1日目】

雨天のため場所を変更して、体育館の中でASE(Action Socialization Experienceの略で、社会性を育成する実習体験)を行いました。その中では、全員の体の一部が繋がりを保った状態で端から端へ移動する「モホーウォーク(板)」や、「フラフープ」を使ったゲームをしました。その後、恒例の班対抗アウトドアクッキングコ



【調理の様子】

ンテストが行なわれ脇田さん、 月野さん、近藤さん、佐藤さん、木原さんの4班が牛肉ブロック(1kg)、米(6合)を使った料理で見事最優秀賞を獲得しました。また、それ以外の班もそれぞれに個性は発揮し、非常に美味しい夕食を作りました。

【2日目】

天 候 も 回 復 し 、 安 定 し た 天 気 の で 「 ボ ル ダ リン グ 」 と 「ハンドクラフト」の二つのプログラムを行いました。 ボルダリングで



【ボルダリング】

はクライマー(登る人)と、ビレイヤ (ロープを操作して、落下時に確保する人)の二人一組になり、約10mの壁のぼりに挑戦しました。

ハンドクラフトではドリームキャッ チャー(ネイティヴィアメリカンに伝わる輪を基にした手作りの装飾品) 作りとトートバックへの絵付けに分かれて行いました。

今回の野外活動を通じて「私は この時"チームっていいな"と絆の強

さを実感しました」「命綱を持つのは責任重大で緊張しっぱなしでしたが、登っている人が成功すると自分まで嬉しくなりました」など、アスリートヴィレッジではなかなか感じることが感覚を体験することが出来ました。今回の活動を生活や競技に活かして欲しいと思います。

《編集後記》

アカデミー生が作った料理を写真で見た時、クオリティの高さに驚いた。普段料理をしていないはずなのに、やると決めたらやれるのが凄い。何でもやればできるんだ。 編集担当・I

公益財団法人 日本オリンピック委員会 JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1 味の素ナショナルトレーニングセンター TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356